

25歳の若手トリオ誕生



NEWS LETTER 遊文通信

2019年2月発行

91

東京支店・企画営業部

東京支店企画営業部に、また二人新入社員を迎えました。
昨年10月に入社した中野瞬と同じく25歳で、
佐地支店長を支える若手トリオ誕生です。
皆様のご指導のほど、心よりお願い申し上げます。

速報

経済産業省主幹の審査を経て、この2月21日、遊文舎は「健康経営優良法人2019」に認定されました。詳細は次号にてお知らせいたします。

東京支店 新入社員のご紹介

東京支店では多様化するお客様のニーズへの提案力・対応力をより強化すべく、2018年9月から営業スタッフの採用活動を行ってまいりました。
延べで150名程のご応募をいただき、慎重に選考を進めた結果、弊社のむかうところと価値観の合う熱意溢れるスタッフを3名迎えることができました。
新風が吹き込まれ一層パワーアップした遊文舎東京支店は一同力を合わせて更なるサービス拡充に努めて参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

[東京支店 企画営業部]

山田 沙季

Yamada Saki



年齢 | 25歳
出身 | 茨城県
趣味 | 音楽(好きなジャンル: ヒップホップ、アイドル、懐メロ、プログレメタル)、読書(好きな作品: 葉桜の季節に君を想うということ)
出身校 | 日本女子大学

初めまして。1月から入社した山田 沙季(やまだ さき)と申します!

前職は、研究職などの理系職種を扱う人材会社で営業をしていました。様々な人の新しい仕事探しを手伝ったり、夢を追っている姿を見て自分も夢を追いかけてみたいと思い、転職しました。

学生時代、文芸部に所属しており、自分たちで作品作りから部誌の作成までやっていた経験や、小さいころからずっと読書が好きで、本に触れることが長かったこともあってずっと印刷や出版などの業界に興味があったので、遊文舎に入社することができてとてもうれしい気持ちでいっぱいです。

いままでも個人の趣味でいろいろなフォントを調べたり、文房具屋さんで色んな紙を手にとって楽しむことがあったので、先日、「デジタル×紙×マーケティング」をテーマとする印刷業界の展示会に行かせて頂いた際は、ものすごくワクワクしてしまいました。

仕事としても楽しみながら知識を身につけて、皆様の力になれるように頑張っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

[東京支店 企画営業部]

中澤 雅彦

Nakazawa Masahiko



年齢 | 25歳
出身 | 東京都
趣味 | ランニング、筋トレ(お腹回り)、ビリヤード、お酒
出身校 | 東洋大学

初めまして! 今年の2月に入社した中澤 雅彦(なかざわ まさひこ)と申します。

前職はブックオフで店長をしていたので、先頭に立ってスタッフを引っ張り、みんなのお手本でいることを心がけていました。子どもからお年寄りまで、様々な年齢のお客様と接してきた経験を遊文舎でも存分に活かしていきたいと考えています。

「お客様のために」「店舗のスタッフのために」、ずっと誰かのために頑張ることをやりがいに仕事をしていたので、最終面接で社長が仰った「辛いこともたくさんあるけれど、誰かの笑顔のために頑張る仕事」という言葉に感銘を受け、入社を決意いたしました。

最近、和泉元彌さんのモノマネをするチョコプラの長田さんに顔が似てると言われることが多いです。業界も職種も変わって一からのスタートですが、年齢が一緒にキャリアの近い同期がいる恵まれた環境です。1日でも早く会社に貢献でき、お客様に喜んでいただける人材になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします!

[大阪本社] 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4丁目17-31
TEL: 06-6304-9325(代) FAX: 06-6304-4995

[東京支店] 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目20-7 水道橋西口会館 8F
TEL: 03-5357-1420 FAX: 03-5357-1421

<http://www.yubun.co.jp/>
E-mail info@yubun.co.jp

スタッフ趣味の パソコン遊び

～制作課 プログラマーQ編

パソコン遊びで
学んだことについて
お伝えします!

私がパソコンと触れ合ったのは小学生の時です。まだDOS/Vが一般家庭に普及し始めた時で、ファーストコンタクトは真っ黒の画面に文字しか表示できないつまらない機械だと思っていました。しかしWindowsがでて、インターネットが普及した時から一変！この何でもできる箱（笑）に夢中になり、今では目新しいものはないかと情報の海を探る毎日です。

パソコンと触れ合っていくと必ずつまずくのが故障・トラブルです。画面が映らない、インターネットにつながらない、アプリが動かない・落ちるなどなど。ですがパソコンの優れているところは、壊れたら、トラブルがあったら、個人レベルで直すことができることです。正直私が一番夢中になったのはここです。

どこが悪いのか、原因は何か、どうすれば直るのか。調べて問題を見つけて、その直し方を見つけて、直す、材料がなければ買いに行って直す。正常に使えないのだから困っているはずなのになんだか楽しくってくる不思議な感覚です。そしてその時得た知識や直せた時の達成感私の生きる糧になっています。

パソコン技術の進歩はめまぐるしく、新しいサービスや製品がどんどん出てきます。こうした変化にもパソコ

ンは物理的にパーツを交換したりソフトウェアをインストールすることで対応できます。これもまた魅力です。印刷業界ではInDesignやIllustratorなどグラフィック（モニター出力・描写）に依存するソフトが多く、そのソフトのバージョンがあがるたびに動きが重くなると感じるユーザーは多いのではないのでしょうか。

こういう時もパソコンにはパーツ交換という素晴らしい対処法があります。一番簡単なのがグラフィックボードと呼ばれるモニターに画像を出力するためのパソコンパーツ。今使っているグラフィックボードの種類を調べて、より性能の良いものへ交換することで今のまま、InDesignやIllustratorの表示や処理を早くさせることができます。

お金をかけずに性能を上げる事、それもまたパソコンの魅力の一つです。ノートパソコンは基本的にパーツ交換が限定される製品ですので、お試しはデスクトップパソコンがお勧めです…。このように、趣味と仕事のボーダーラインをいきつもどりの毎日、お陰様で充足の日々です。



パソコンケースをあけるとスロットがあります



これがグラフィックボードです



こちらがスロットにグラフィックボードを取り付けたものになります

● 編集後記 ●

今号は1月、2月入社の方の期待の新人を紹介させていただきました。新人が入社するととてもフレッシュな気持ちになります。私も入社当初は、印刷業のことは全然分からなくて先輩達に教えていただきながら営業として、現在は1人で回ることができています。ぜひ頑張ってほしいです！

2～3月は弊社の繁忙期なので、体調管理・スケジュール管理等しっかりとし、お客様、社内のメンバーに迷惑をかけないように引き続き頑張ってまいります。
(おっくん)